

未来へつながる地域づくりのためには ~持続可能な社会づくりとは~



白熊君は訴える!!

I はじめに

本日の論点

- ①ESD:持続可能な未来のための人づくり
とはどんなことから始めるのですか？
Q・ESD新しいことを始めるのですか？
(学校の事例)
- ②仙台広域圏RCE(宮城県)では、どんな取り組みをしているのか？

ESD:地域づくりと学びあい①

EPO東北のESDパンフの事例

- ・青森:菜の花横浜プロジェクト
- ・秋田:木製ダムでCO2ダイエット
- ・岩手:廃校を再利用した「森と風のがっこう」
- ・山形:ワインの搾りかすを家畜のエサにリサイクル
- ・宮城:ふゆみずたんぼプロジェクト
- ・福島:まわそう風のちからで土のちからで

ESD:地域づくりと学びあい②

EPO東北のESDパンフの事例

～ESDをはじめましょう！～

①イベントづくり:ESDのはじめの一步

いぐねの学校:いぐねの学校

②地域づくり:地域内連携のESD

角川里の自然環境学校

③ネットワークづくり:地域間連携のESD

水守の郷・七ヶ宿と川崎町資源を生かす会

Ⅱ ESDって何をするのかなあ？

特集/宮城米



▲米の産地である宮城県の米産地を代表する米産地として、環境保全米の生産に取り組んでいる宮城県産米の生産者たち。



▲米の産地である宮城県の米産地を代表する米産地として、環境保全米の生産に取り組んでいる宮城県産米の生産者たち。

39 月刊「食糧ジャーナル」

「みやぎの環境保全米」県内販売好調
日本一の特産米産地・宮城
環境保全米定着に手応え

▲米の産地である宮城県の米産地を代表する米産地として、環境保全米の生産に取り組んでいる宮城県産米の生産者たち。



▲米の産地である宮城県の米産地を代表する米産地として、環境保全米の生産に取り組んでいる宮城県産米の生産者たち。

●今年1月に県内一斉販売を開始した「みやぎの環境保全米」は、消費者を惹きつける効果があり、5月上旬から6月11日まで実施された販促キャンペーンで、販売量は前年同様に伸びた。JAグループ宮城と宮城県産米生産者協議会（JA米産地協議会）は平成20年度の生産者や消費者に働きかけ、環境保全米の普及を図る。平成22年度では県内の販路を拡大する計画である。販売促進のため、JAグループ宮城が販売促進費を出している。米の産地である宮城県の米産地を代表する米産地として、環境保全米の生産に取り組んでいる宮城県産米の生産者たち。

▲米の産地である宮城県の米産地を代表する米産地として、環境保全米の生産に取り組んでいる宮城県産米の生産者たち。

JAグループ宮城

①ESDとは何ですか？

ESD(持続可能な開発のための教育)

=持続可能な未来を創る人づくり・地域づくり)

2005年から始まった国連のESDキャンペーン

ESDの10年の目的は？

- ・持続不可能な現実をみつめて、それぞれの課題を解決し、未来をみんなで創ること。
- ◆持続不可能な秋田の現実・環境負荷・高齢化・地域格差・人口減少……

②ESDを進める方法は？

- 今、各地域で学校、市民、企業、行政が行っている持続可能な未来づくりの活動をつなげて大きな輪(=世論を作り)をつくり、みんなが未来を考える活動に参加できるようにしていくこと。先に始めている人もこれから始める人も一緒に参加できる緩やかな輪(ネットワーク)でつなげていくこと。
- ESDのキーワードは、つなぐということ。上下関係の無い水平的なネットワークづくりが大切。

③どこからはじめるESD

- 地域によって得意なところからはじめればいい。

仙台広域圏RCEの場合は、取り組みの実績のあった環境から始めました。環境といってもその領域は広く、仙台広域圏RCEでは、教員養成から環境を考える宮城教育大学、エネルギー教育の東北大学大学院環境科学研究科、学校の環境教育実践の気仙沼地域、環境保全型農業実践の大崎市田尻地域、里山の環境保全＋都市との交流を実践する白石・七ヶ宿地域、循環型都市づくりと環境学習の仙台地域の活動をつないでいます。

④ 誰がネットワークを作るのか？

- 地域の単位では、継続的運営力のある自治体（教育委員会も含む）が大きな役割を果たしますが、各地域をつないでいったり、地域のネットワークを掘り起こしたりするのは、大学も大きな役割を果たします。
- 地域のよっては、NPOが音頭を取ることも可能です。（水平的なネットワークが大事）

⑤ESD(地域の未来創り)は何をするの？

- ①市民や企業のESD:市民や企業、学校が連携して地域の身近な活動に取り組み1人1人が地域づくりに参加できる実感を学び、主体的な地域づくり行う。地域ぐるみの活動、都市と農村の住民交流、市民活動と企業の連携
- ②学校のESD:未来に立ち向かえる学力創り、基礎基本学力(読解力、分析力、コミュニケーション力)を踏まえて生きる力(総合的な学習の場面:体験力、表現力、発信力)を育てていくこと。学校の中の連携、学校外との連携~地域づくり
- ③行政のESD:市民活動・企業・学校の連携が円滑に動くように支援する。同時に持続可能な地域づくりのビジョンを市民と一緒に創って行くこと。
- ④大学のESD:地域づくりと学力づくりの調整・支援。同時にESDの大学教育を創造していくこと。

Ⅲ 仙台広域圏RCE(宮城県)のESD

◆ 宮城県の特色あるESDプログラム(活動の芽)

- ①環境保全米運動(低農薬・低化学肥料の米づくりを消費者が支援する仕組み作り)
- ②水源の里山を守る運動(都市住民との交流で里山の手入れ～広葉樹の伐採による更新)
- ③森は海の恋人運動(植林により、山～里～海のつながりを理解する取り組み)
- ④地産地消(直売所による地産地消の推進)
- ⑤スローフード(地域の食材を地域の食関連産業につなげる活動)
- ⑥ふゆみず田んぼ(渡り鳥との共生)
- ⑦持続発展教育:いぐねの学校・里山探検隊(里山・里地の仕組みを理解する学校、生態系サービスを可視化する取り組み)

①仙台広域圏ESD/RCEの取り組み

宮城県内の持続可能な地域づくり・学校づくりを行っている地域・学校のネットワーク

①大学:宮城教育大学・東北大学環境科学研究科

②地域:仙台地域:FEEL仙台

気仙沼地域:気仙沼ESD・RCE推進委員会

大崎・田尻:大崎田尻ESD・RCE推進委員会

白石・七ヶ宿:水守の郷・白石ユネスコ

③関連団体のネットワーク(宮城県・仙台市・河北新報社……)

②国連登録・ESD地域拠点 ・仙台広域圏RCEの構成

仙台広域圏ESDの構成

仙台広域圏ESD・RCE運営委員会

仙台ESD (FEEL Sendai)

活動テーマ **循環型社会**

〈参加団体〉

- **くらし**
 - みやぎ生活協同組合環境管理室
 - 仙台みやぎ消費者支援ネット (NPO)
- **環境**
 - 仙台市環境局
 - 環境サークルFINESS
 - 社団法人環境ネットワーク
 - みやぎ環境カウンセラー協会 (NPO)
 - 財)みやぎ環境とくらしネットワーク
- **環境教育**
 - 仙台市教育委員会
 - 宮城教育大学環境教育実践研究センター
- **水**
 - 水・環境ネット東北 (NPO)
- **循環型社会**
 - 環境会議所東北 (NPO)
- **市民活動**
 - せんだいみやぎNPOセンター (NPO)
- **子ども**
 - 仙台市社会学級研究会
 - 仙台市保育者連合会
 - 冒険あそび場 - せんだいみやぎネットワーク (NPO)
- **防災教育**
 - 東北福祉大学
 - ボランティアセンター
- **国際協力**
 - JICA東北支部




白石・七ヶ宿ESD

活動テーマ **水源地域の里山保全**

水道113号線のコミュニティ

河川清掃「青年会議所」
置き炭による山の再生「水守人」
環境保全型農業「源流米」
持続可能な森林経営「フォレストック認定林」

特定非営利活動法人 水守の郷・七ヶ宿
山学校体験センター(炭焼き・カヌー・炭工作)

ユネスコ協会の普及拡大
白石ユネスコ協会



大崎・田尻ESD

活動テーマ **持続可能な農業・環境教育**

〈参加団体〉

- **くらし**
 - エコソリズム
 - 田尻グリーンツーリズム委員会
- **農業**
 - JAみどりの
 - 仲間ふゆみずたんぼ生産組合
- **持続的農業**
 - 田んぼ (NPO)
- **自然教育**
 - 日本庭を保護する会
 - 農業ぬまっこくらぶ (NPO)
- **公共団体**
 - 宮城県
 - 栗原市
 - 登米市
 - 大崎市
- **経済**
 - たけのこ産波公社
 - 大崎商工会田尻支部



宮城教育大学

活動テーマ **教員養成・人材育成**

〈参加団体〉

- **環境教育**
 - 環境教育実践研究センター
 - 環境教育ライブラリーえるふえ
- **特別支援教育**
 - 特別支援教育総合研究センター
- **教育臨床**
 - 教育臨床総合研究センター
- **国際理解教育**
 - 国際理解教育研究センター
 - ASPUiNet (ユネスコスクール大学間支援ネットワーク)
- **連携**
 - 宮城県教育委員会
 - 仙台市教育委員会
 - 気仙沼市教育委員会
 - 岩沼市教育委員会
 - 登米市
 - 仙台市八木山動物公園
 - 栗原市教育委員会
 - 仙台市天文台
 - 河北新報社
- **大学連携**
 - 杜の都学館仙台コンソーシアム

東北大学 環境科学研究科

活動テーマ **エネルギー・環境教育**

エネルギー・環境教育とESDの関連性




気仙沼ESD

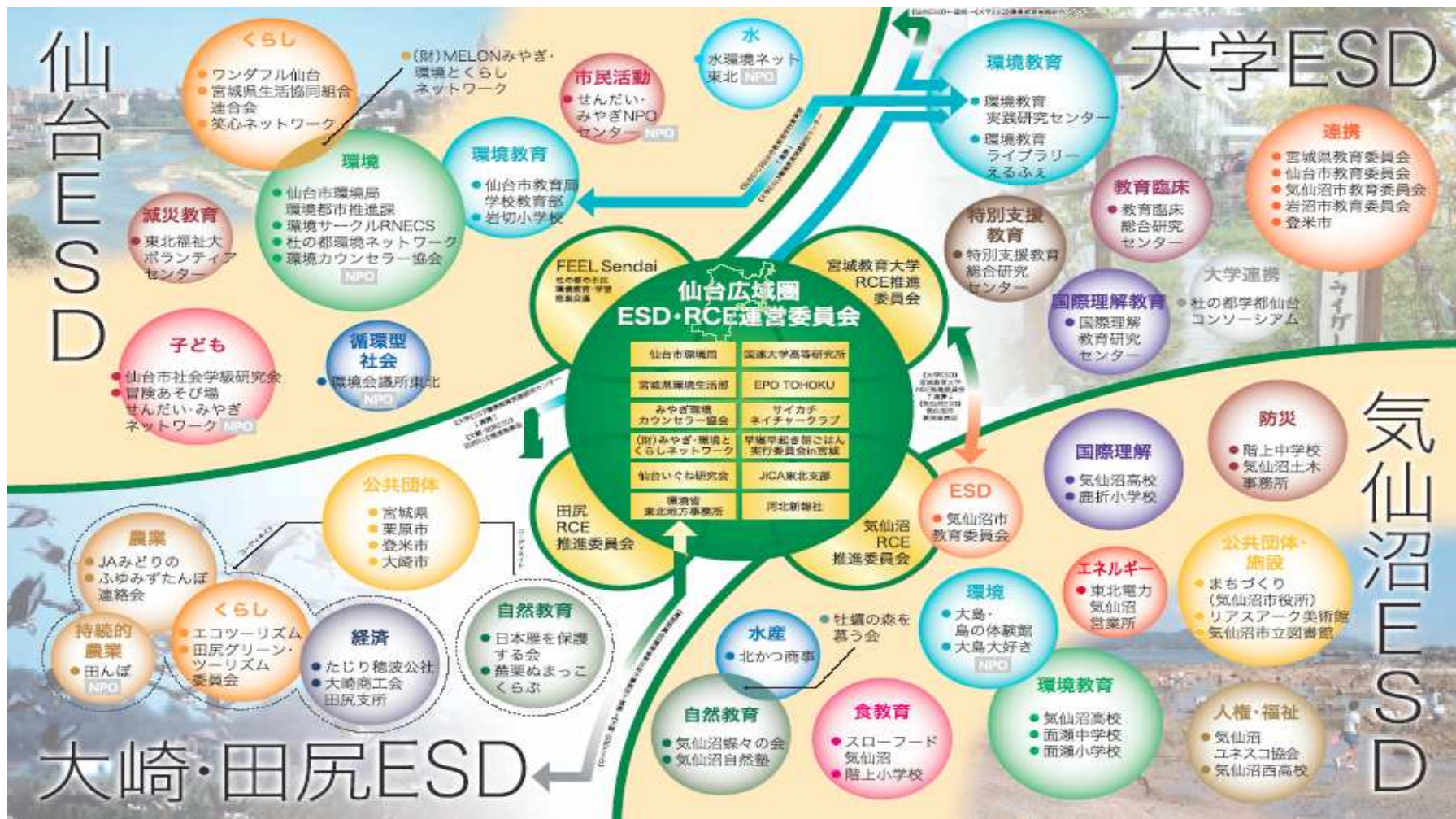
活動テーマ **持続発展教育(ESD)による人・地域づくり**

〈参加団体〉

- **環境**
 - 大島島の体験館
 - 大島大好き (NPO)
 - 宮城県建築士会
- **環境教育**
 - 気仙沼高校
 - 面瀬小・中学校
 - 大谷小・中学校
- **自然教育**
 - 気仙沼緑々の会
 - 気仙沼自然塾
- **水産**
 - 北かつ商事
 - 牡蠣の森を暮らし会
 - 鹿桑小学校
 - 大島小・中学校
- **食教育**
 - スローフード気仙沼
- **エネルギー**
 - 東北電力気仙沼営業所
- **人権・福祉**
 - 気仙沼ユネスコ協会
 - 気仙沼高校
 - 気仙沼中学校
- **公共団体・施設**
 - まちづり(気仙沼市役所)
 - リアスアーク美術館
 - 気仙沼市立図書館
 - 気仙沼市環境課
- **地域遺産教育**
 - 月立小学校
- **ESD**
 - 気仙沼市教育委員会
- **国際理解**
 - 気仙沼高校
 - 鹿折小学校
 - 中井小学校
- **防災**
 - 陸上中学校
 - 気仙沼土木事務所



③仙台広域圏RCEの構成



④各地域のESD活動

- 地域の共通課題を軸に
学校・市民団体・行政・関連団体が
つながり・連携しながら
持続可能な地域づくりを行う。

⑤環境フォーラム(仙台)



⑥いぐねの学校(仙台)



⑦ 蕪栗沼の雁



⑧持続可能な農業・ふゆみずたんぼ (大崎・田尻)



⑨炭焼きと里山保全(七ヶ宿)



⑩山に炭を植える！（七ヶ宿）



⑪源流米・山のしずくをつくる(七ヶ宿)



持続発展教育(気仙沼・塩作り)



⑫ 持続発展教育(気仙沼)



⑬ 持続発展教育（科学館との連携）



⑭地域間の学びあい活動

- 各地域が、他の地域の特色ある活動を学び自地域にあらたな活動分野を増やすことが出来る。
- また、あたらしい地域の取り組みの芽を育てることができる。

⑮仙台広域圏全体の課題に取り組む

- 宮城の持続可能のための課題

- ①山・里・海の生態系の保全。生物多様性

(環境)

- ②生態系を保全しながら、持続可能な農林水産業を創造する。

(食料)

- ③持続発展教育の推進～未来を生きる力を育む～

(人間)

- ④持続可能なライフスタイルの推進

(生活)

おわりに

- 東日本大震災
- ESD=復興

ご清聴ありがとうございました。

